

令和3年（2021年）梅雨のまとめ

令和3年9月1日 新潟地方气象台

1 梅雨入り・明けの時期

事後検討（注1）による令和3年（2021年）の梅雨入り・明けの時期（注2）は表1のとおりである。

表1 今年の梅雨入り・明けの時期

地域名	梅雨入り	梅雨明け
	今年（平年）	今年（平年）
沖縄	5月5日ごろ（5月10日ごろ）	7月3日ごろ（6月21日ごろ）
奄美	5月5日ごろ（5月12日ごろ）	7月3日ごろ（6月29日ごろ）
九州南部	5月11日ごろ（5月30日ごろ）	7月11日ごろ（7月15日ごろ）
九州北部	5月11日ごろ（6月4日ごろ）	7月13日ごろ（7月19日ごろ）
四国	5月12日ごろ（6月5日ごろ）	7月19日ごろ（7月17日ごろ）
中国	5月12日ごろ（6月6日ごろ）	7月13日ごろ（7月19日ごろ）
近畿	6月12日ごろ（6月6日ごろ）	7月17日ごろ（7月19日ごろ）
東海	6月13日ごろ（6月6日ごろ）	7月17日ごろ（7月19日ごろ）
関東甲信	6月14日ごろ（6月7日ごろ）	7月16日ごろ（7月19日ごろ）
北陸	6月13日ごろ（6月11日ごろ）	7月14日ごろ（7月23日ごろ）
東北南部	6月19日ごろ（6月12日ごろ）	7月16日ごろ（7月24日ごろ）
東北北部	6月19日ごろ（6月15日ごろ）	7月16日ごろ（7月28日ごろ）

事後検討の結果、北陸地方の梅雨入りの時期は、当初発表日より5日早く「6月13日ごろ（平年並）」に、北陸地方の梅雨明けの時期は、当初発表日と同じく「7月14日ごろ（平年より早い）」に確定した。

当初発表は北陸地方（新潟県・富山県・石川県・福井県）の今年の梅雨入りの時期（6月18日ごろ）は、「平年より遅い」の階級（「平年より遅い」の範囲は6月14日～20日）となり、昨年（6月11日ごろ）より7日遅かった。梅雨明けの時期（7月14日ごろ）は「平年より早い」の階級（「平年より早い」の範囲は7月11日～7月18日まで）となり、昨年（8月1日ごろ）より18日早かった。

太平洋高気圧の張り出しが例年より弱かったため、梅雨前線は日本の南海上に停滞しやすかった。6月13日ごろから、上空の寒気や湿った空気の影響で、北陸西部を中心に悪天日（日照時間が5時間未満の日）が継続した。6月19日には低気圧の通過により北陸全域で雨となった。6月下旬から7月初めまでは、梅雨前線が日本の南海上に離れていたため好天日（日照時間が5時間以上の日）が続いたが、7月上旬は梅雨前線が停滞し北陸地方の多くの地点で多雨・寡照となり、13日ごろまで大雨となった所があった。その後、上空の寒気の影響で午後を中心に雷雲が発生することが続いたものの、梅雨前線は不明瞭となり高気圧が張り出したため、北陸地方全域で好天日が続いた。事後検討により梅雨入りを6月13日ごろ、梅雨明けを7月14日ごろに確定した。

注1：梅雨入り・明けの時期は、過去の実況と数日から1週間程度の天候予想に基づいて、「梅雨の時期に関する北陸地方気象情報」として速報的に発表（当初発表）する。後日、天候の経過を考慮して再検討したうえで確定する（事後検討）。記録として残るのは、この事後検討の値である。

注2：梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間がある。その遷移期間の概ね中日をもって「* * 日ごろ」と表現する。

2 北陸地方の梅雨の時期（6月～7月）の降水量

北陸地方の梅雨の時期（6月～7月）の降水量平年比は89%であった。なお、1951年以降で6月～7月の降水量が最も少ない年は1994年（平年比36%）で、最も多い年は1964年（平年比176%）である。

各地の梅雨の時期（6月～7月）の降水量は表2のとおりである。6月の階級は、相川・富山・敦賀で「少ない」他は「平年並」となっており、北陸地方平均としては「平年並」の階級となった。7月の階級は、輪島で「少ない」、高田・福井で「多い」、その他は「平年並」となり、北陸地方平均としては「平年並」の階級となった。

同時期の最大日降水量、最大1時間降水量、最大10分間降水量は表3のとおりである。

表2 梅雨の時期の降水量

地点	6 月		7 月		6～7 月合計		
	降水量 (mm)	平年比 (%)	降水量 (mm)	平年比 (%)	降水量 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)
新潟	84.5	70	226.5	102	311.0	343.4	91
相川	72.5	59	240.5	116	313.0	329.8	95
高田	120.5	88	235.0	114	355.5	343.3	104
富山	102.0	59	219.5	89	321.5	418.2	77
伏木	128.5	81	163.0	73	291.5	383.2	76
金沢	164.0	96	159.5	68	323.5	403.7	80
輪島	141.5	91	102.0	51	243.5	355.4	69
福井	119.5	78	350.5	146	470.0	392.6	120
敦賀	90.5	63	210.5	103	301.0	348.1	86

表3 梅雨の時期の最大日降水量、最大1時間降水量、最大10分間降水量

地点	最大日降水量		最大1時間降水量		最大10分間降水量	
	(mm)	(月日)	(mm)	(月日)	(mm)	(月日)
新潟	50.5	7月9日	24.5	7月12日	11.0	7月12日
相川	65.0	7月11日	33.5	7月12日	14.5	7月12日
高田	76.0	7月5日	20.5	6月22日	10.0	6月22日
富山	46.5	7月5日	20.5	7月15日	10.5	7月15日
伏木	54.0	7月5日	18.0	6月14日	8.5	6月14日
金沢	63.0	6月19日	14.0	7月8日	6.0	7月5日
輪島	51.0	6月14日	45.0	6月14日	15.5	6月14日
福井	107.0	7月29日	44.0	7月29日	16.5	7月29日
敦賀	51.5	7月28日	19.5	7月28日	10.0	7月28日

(注) 値の横に“()”や“J”がある場合には、使用したデータに欠測等が含まれていることを示す。“×”は資料不足値(“()”あり)のため階級を求めていることを示す。

“()”付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが、“J”付きの値(資料不足値)については、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を气象台等に確認して、品質を確かめてください。

3 梅雨の特徴

令和3年（2021年）の梅雨入り・明けの階級は以下のとおりである（いずれも平年に比べて）。

《梅雨入り》

- ・かなり早い：九州南部、九州北部、四国、中国
- ・早い：沖縄、奄美
- ・平年並：北陸
- ・遅い：近畿、東海、東北南部、東北北部
- ・かなり遅い：関東甲信

《梅雨明け》

- ・かなり早い：該当なし
- ・早い：中国、近畿、北陸、東北南部、東北北部、九州南部、九州北部
- ・平年並：四国、東海、関東甲信
- ・遅い：奄美
- ・かなり遅い：沖縄

梅雨入りは、中国・四国地方より西で早く、その他の地方で遅い傾向となった。梅雨明けは、沖縄、奄美で遅い傾向の他は、「平年並」または「早い」となった。

4 北陸地方の梅雨の経過

（１）6月の経過

太平洋高気圧の張り出しが例年より弱かったため、梅雨前線は日本の南海上に停滞しやすかった。高気圧に覆われやすく晴れた日が多くなったが、上空に寒気が流れ込んだ影響で、13日頃から曇りや雨の日が多くなった。

北陸地方は6月13日ごろ梅雨入りしたとみられる。

6月の平均（合計）と旬別の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

北陸地方平均	6月	上旬	中旬	下旬
平均気温平年差階級	+0.7℃ 高い	+1.0℃ 高い	+1.0℃ 高い	+0.2℃ 平年並
降水量平年差階級	76% 平年並	195% 多い	115% 平年並	25% かなり少ない
日照時間平年差階級	119% 多い	126% 多い	83% 少ない	151% 多い

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）ごとの平年差（比）を平均したもの。

◎北陸地方気象官署及び特別地域気象観測所（相川、高田、伏木、輪島、敦賀）における6月の主な月間気象要素の累年極値および順位（3位以内）更新一覧表

・月間気象要素の累年極値および順位（3位以内）更新はなかった。

（2）7月の経過

4日頃から梅雨前線が北陸付近に停滞し、大雨となった日もあったが、15日頃には梅雨前線が不明瞭となった。北日本を中心とした高気圧に覆われやすかったため、晴れた日が多くなった。

北陸地方は7月14日ごろ梅雨明けしたとみられる。

7月の平均（合計）と旬別の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

北陸地方平均	7月	上旬	中旬	下旬
平均気温平年差階級	+1.1℃ 高い	+0.9℃ 平年並	+1.6℃ 高い	+0.9℃ 平年並
降水量平年差階級	96% 平年並	170% 多い	43% 少ない	64% 平年並
日照時間平年差階級	137% かなり多い	57% 少ない	193% かなり多い	147% かなり多い

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）ごとの平年差（比）を平均したものである。

◎北陸地方気象官署及び特別地域気象観測所（相川、高田、伏木、輪島、敦賀）における7月の主な月間気象要素の累年極値および順位（3位以内）更新一覧表

・月間気象要素の累年極値および順位（3位以内）更新はなかった。